

流しそうめん

夏はやっぱり流しそうめん！ 名栗の冷たく美味しい水で、涼しげな気分とともにそうめんを味わいましょう。子ども達にも大人気です。



ねらいとして考えられるもの

- ・流しそうめんを通して、参加者同志の交流を図る。
- ・みんなで協力して楽しいことを作り上げる楽しさを知る。
- ・水は高いところから低いところへ流れることを学ぶ。

可能な活動場所

- ・野外炊事場、食事広場、第2・3ファイア場

所員の指導	対象	月	人数	所要時間	費用
	3歳以上	7・8月	10～60人 *1	3時間	500円 *2

団体が準備するもの

食器・軍手（滑り止めのないもの）、クレンザー、マッチ、新聞紙、ふきん（班に2枚）服装：長袖・長ズボン

げんきプラザが準備するもの

ビニルホース（2本まで）、竹（1セット3m×2本）、食材、ゴミ袋、ザル、なべ、さいばし、ボール、ビールケース、竹の足、針金、ペンチ

実施要領

導入

- ① 動機づけ（下記「指導のポイント・展開のアイデア」参照）
- ② 安全上の注意（下記「留意点」参照）

準備

- ① 役割分担：火おこし係を決めておく。
- ② 材料を受け取る。用具を借りる。かまどや使用テーブル・場所を確認する。荷物を置く。
- ③ 使用テーブルを台ふきんで拭く。
- ④ 手・使用する用具を全て洗う。

実施

<めんゆで> 野外炊事場

- ① かまどに火を起こす。鍋にたっぷりのお湯を沸かす。
- ② お湯が沸いたら、麺をゆでていく。
- ③ 冷水にさらす。
- ④ ザルにあげる。

<薬味・つゆ>

- ⑤ 薬味を切る。
- ⑥ 缶詰めを開ける。
- ⑦ つゆは水で5倍に希釈しておく。

<会場設置> 食事広場、第2・3ファイア場など

- ⑧ 竹、台、ビニルホースを会場に設置する。排水は直接川に流れないように排水溝を作り、地中にしみ込ませる。※竹は12m×2本が最大。
- ⑨ 固定されているか確認する。出口にはザルをビールケースの上に2重にして置いておく。
- ⑩ 水を流し、竹をたわして洗う。

食べる

流す人と食べる人が交代できるように配慮する。

片付け

- ① 竹はそうめんのこびりつきがないように良くたわしであらう。
- ② ホースは水を抜く。
- ③ ゴミは分別し（生ゴミ、燃えるゴミ）、所定の場所に捨てる。
- ④ 炊事用具を洗い、担当職員のチェックを受け、キャンプセンターに返却する。
- ⑤ かまどの上、中の灰や燃え残りをかき出し、炊事場手前の焼却炉に入れる。
- ⑥ 洗い場と、流しの網の生ゴミや汚れを落とす。

まとめ

- ・ふりかえり
- ・下記「指導のポイント・展開のアイデア」参照

留意点

- ① 火を使う活動です。火傷等充分注意しましょう。
- ② 包丁で手を切らないよう注意。炊事場では走らない。
- ③ 野外での調理になりますので、食中毒に注意。手が汚れたら洗いましょう。
- ④ 後片付けを、しっかりしましょう。使用した用具や場所はきれいにもとに戻しましょう。

指導のポイント・展開のアイデア

- ・みんなで楽しい流しそうめんを行うことができただろうか。
- ・みんなで楽しく片付けまで行うには、どんなことに気をつけたらよいただろうか。
- ・水が高いところから低いところへ流れる特性を利用してできる他のことにはどんなことがあるだろうか。

*1 60人を超える場合は、2班に分けて実施したり、交代で実施していただく場合もあります。

*2 薪代（300円/1束）が別途必要です。持込も可

野外炊事にあたって

① 食材、炊事道具提供時間

	時間	提供場所
朝食	6:00~6:30	食堂
昼食	野外炊事開始時刻	キャンプセンター
夕食	野外炊事開始時刻	キャンプセンター

- ② 野外炊事開始15分前に、担当職員との事前打ち合わせを行います。
- ③ 衛生上、持ち込み食材と食堂提供食材の併用はご遠慮下さい。本館利用の方の食材持込は初日のみに限ります。
- ④ 野外炊事の準備、片付けについては、食材・炊事道具提供時にお渡しする『野外炊事の準備・片付けについて』をご覧ください。